

KENWOOD

カセットレシーバー

RX-260

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)6357-5335 〒534-0024 大阪府都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

© B64-1419-00 (JW)

CONTENTS

安全上のご注意

この取扱説明書の読み方

4

安全上のご注意

5

使用上のご注意

8

操作のしかた

ALL MODE

パワーオン、パワーオフ、ボリューム、アッテネーター、
モードチェンジ、ラウドネス 10
オーディオコントロール、時計表示、時計調整、
トラフィックインフォメーション、
トラフィックインフォメーションボリューム 12

TAPE MODE

テーププレイ、リバースプレイ、イジェクト、
早送り/巻戻し、チューナーコール 14

TUNER MODE

チューニング 16

マニュアルメモリー、オートメモリー 18

取り付け上のご注意

20

接続・取り付けのしかた

22

故障かな?と思ったら

24

保証とアフターサービス

25

仕様一覧

26

ALL MODE

TAPE MODE

TUNER MODE

RX COMPONENT SOUND SYSTEM RX-260

この取扱説明書の読み方

● 機能の名称が書いてあります。

パワーオン

電源を入れる



SRCボタンを押す。

MEMO ▶ すべての操作は電源オン中に行ってください。

● 機能の簡単な説明が書いてあります。

● 操作に関する補足説明が書いてあります。



ボタンを押し、すぐに手を離します。



ボタンを1秒以上、または2秒以上押し続けます。

ご使用の皆様へ

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため
「安全上のご注意」をご使用前に
よくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



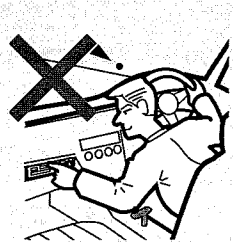
実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守り下さい。

警告



実施

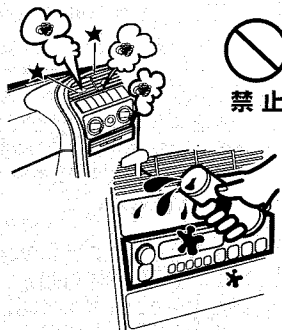
運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- 音量調節などのカーオーディオの操作



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



禁止

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする

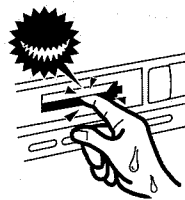
修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

注意



禁止

カセットテープ挿入口やディスク挿入口に手や指を入れないでください。けがをすることがあります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため割れてケガをするおそれがあります。

使用上のご注意

取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

セットの異常にお気づきのときは

万一、セットの異常にお気づきのときは、まず本機のリセットボタンをペン先などで押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。



リセットボタン

セットのお手入れについて

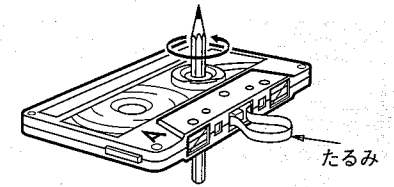
本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスかやわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

ヘッドクリーニングについて

本機を長時間使うと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが付着し、雑音が出たり音質が悪くなることがあります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。クリーニングテープ・ヘッドクリーニングキットはオーディオ専門店やレコード販売店で市販されています。中にはカーオーディオ用としては適さないものもありますので、確認のうえお買い求めください。

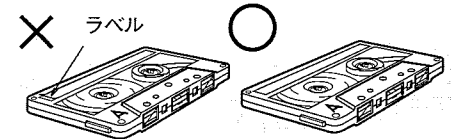
テープの取扱いについて

テープにたるみがあるときは、図のように鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



たるみ

変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルのはがれかかっているときは、貼り直してから使用してください。



ラベル

カセットテープをダッシュボードの上、リアトレイの上など高温になる場所や、ヒーターの熱風のかかる場所へは置かないでください。

100分以上のカセットテープは大変薄く、テープがピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどのトラブルが起こりやすいので使用しないで下さい。

ALL MODE 共通機能

ALL MODE

パワーオン

電源を入れる



SRC ボタンを押す。
電源をオフにしたときのモードになります。

パワーオフ

電源を切る



PWR OFF ボタンを1秒以上押す。

ボリューム

音量を調整する



▷ 音量を大きくする
へ ボタンを押す。



▷ 音量を小さくする
∨ ボタンを押す。

アッテネーター

音量をすばやく小さくする



ATT ボタンを押す。
アッテネーターがON中はATT インジケータが点滅します。



▷ 元の音量に戻す
ATT ボタンを押す。

モードチェンジ

聴くメディアを切り替える



SRC ボタンを押す。
押すたびにモードが以下のように切り替わります。

TUnE : FM/AM放送を聴くモード
(TUNER MODE)

TAPE : TAPE演奏を聴くモード
(TAPE MODE)

ラウドネス

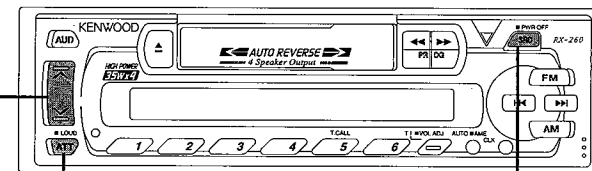
低音を補正してメリハリのある音質にする



LOUD ボタンを1秒以上押す。
ラウドネスがONになるとLOUD インジケータが点灯します。



▷ 元の音質に戻す
LOUD ボタンを1秒以上押す。



ATT ボタン



LOUD ボタン



~/~ ボタン

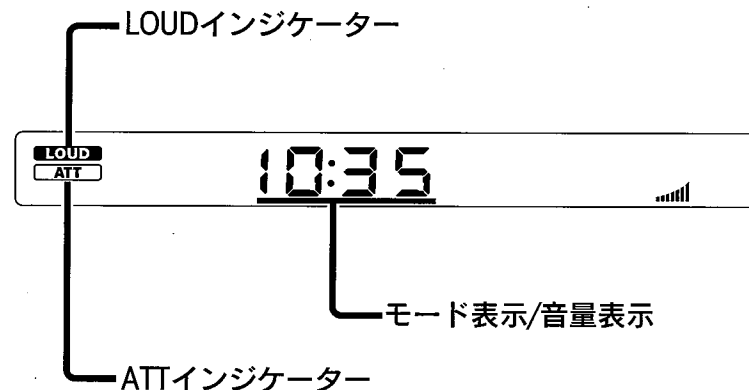


SRC ボタン



PWR OFF ボタン

ALL MODE



ALL MODE 共通機能

オーディオコントロール

音質や音量バランスを調整する



1. AUD ボタンを押す。
押すたびに調整できるモードが以下のように切り替わります。

音量調整モード

▼ (調整範囲: 00~32)

BAS: 低音調整モード

▼ (調整範囲: -5~+5)

TRE: 高音調整モード

▼ (調整範囲: -5~+5)

BL: 左右音量バランス調整モード

(調整範囲: L[左]9~R[右]9)

Fd: 前後音量バランス調整モード

(調整範囲: R[後]9~F[前]9)



2. へボタンまたは∨ボタンを押す。
それぞれのモードを調整できます。



- ▷ 解除する
AUD ボタンを1秒以上押す。
音量調整モードになります

MEMO ▶ 低音と高音の調整は、カセットテープ、FM放送、およびAM放送を聴いているとき、それぞれのモードごとにできます。

時計表示

時刻を表示する



1. CLK ボタンを押す。
押すたびに、現在のモードの表示と時計表示とが切り替わります。

時計調整

時刻を調整する



1. 時計表示にする。
2. CLK ボタンを押しながら◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押す。



◀◀ボタンを押すと時刻が調整でき、▶▶ボタンを押すと分が調整できます。

トラフィックインフォメーション

交通情報を聞く



1. TI ボタンを押す。
交通情報局 (1620kHz、1629kHz、または522kHz) を受信します。
トラフィックインフォメーションがONのときは、インジケータが点灯します。



- ▷ 周波数を変更する
◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押す。



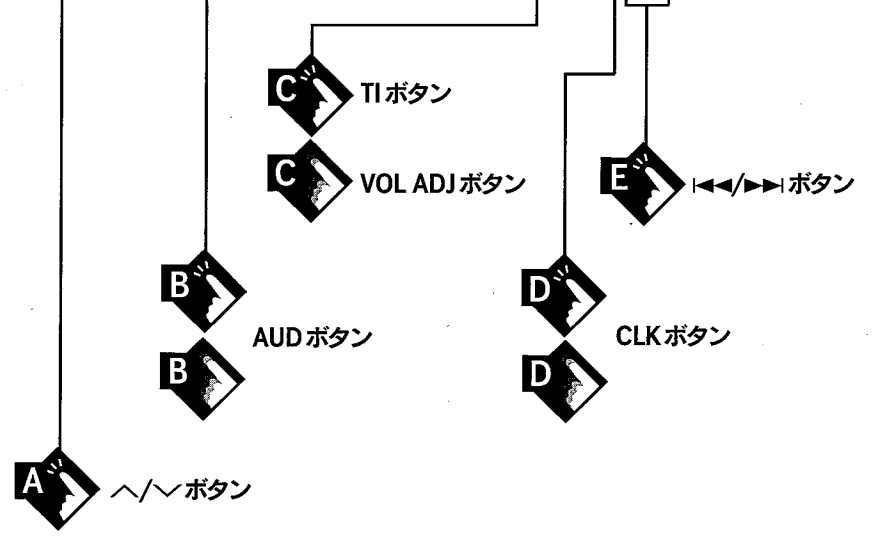
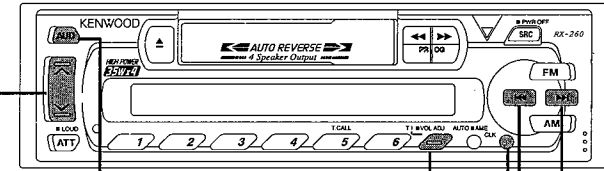
- ▷ 解除する
TI ボタンを押す。

トラフィックインフォメーションボリューム

交通情報受信中の音量を設定する



1. トラフィックインフォメーションをONにして、設定したい音量にする。
2. VOL ADJ ボタンを2秒以上押す。
設定されると音量表示が1回点滅します。
次回からトラフィックインフォメーションモードにすると、自動的に、この設定した音量になります。



インジケータ



時計表示/オーディオ調整表示

TAPE MODE

TAPE MODE

テーププレイ

カセットテープを聴く

▷ カセットテープが入っていないとき
カセットをテープが見える方を右側
にして入れる。

▷ カセットテープが入っているとき
SRC ボタンを押す。
“TAPE” と表示がされて、テープ
プレイが始まります。テーププレイ
が始まらないときは、もう一度 SRC
ボタンを押します。

MEMO ▶ 走行インジケータは以下のように再生
面を表示します。
例)カセットのA面を上にして入れたとき。
▶ 点灯：A面を再生中です。
◀ 点灯：B面を再生中です。

リバースプレイ

カセットテープの反対面を聴く

◀ ボタンと ▶ ボタンを同時に押す。

イジェクト

カセットテープを取り出す

▲ ボタンを押す。

早送り/巻戻し

▷ 早送り
走行インジケータと同じ方向の
◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押す。

▷ 巻戻し
走行インジケータと逆の方向の
◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押す。

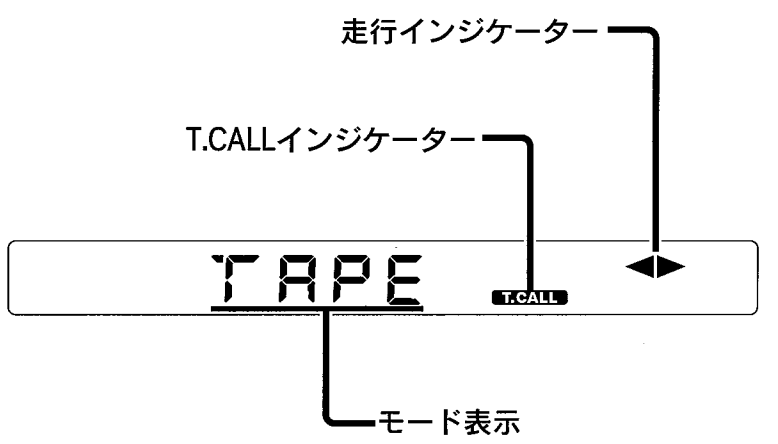
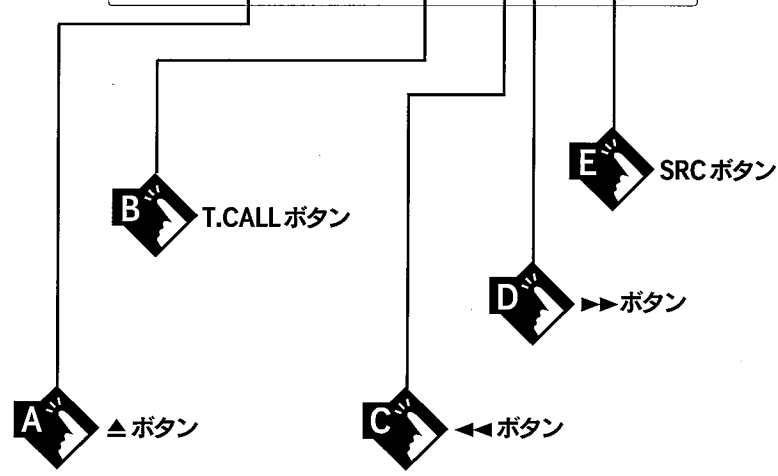
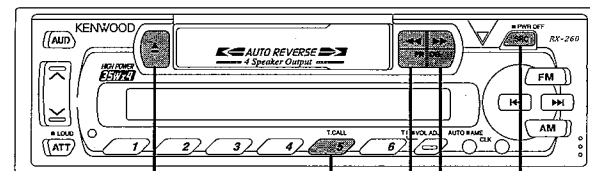
▷ 早送り/巻戻しを解除する
◀◀ ボタンと ▶▶ ボタンを同時に押す。

チューナーコール

早送り・巻戻し中にラジオを聴く

T.CALL ボタンを押す。
押すたびにチューナーコールが
ON/OFF します。
チューナーコールが ON のときには、
T.CALL インジケータが点灯します。

MEMO ▶ チューナーコールを ON にすると、オート
アンテナ車ではアンテナが伸びた状態に
なります。車庫入れのときなどにアンテ
ナを収納したいときは、チューナーコ
ールを OFF にしてください。



TAPE MODE

TUNER MODE

チューニング

ラジオを聴く



▷ チューナーに切り替える
SRC ボタンを押す。

“TUnE”と表示がされて、チューナーモードに切り替わります。チューナーモードに切り替わらないときは、もう一度SRCボタンを押します。



▷ バンドを切り替える

AM ボタンまたは**FM ボタン**を押す。

AMボタンを押すとAMバンドに切り替わります。FMボタンを押すたびにFM1バンドとFM2バンドとに切り替わります。バンドインジケータに受信しているバンドが表示されます。



▷ チューニング方法を切り替える
AUTO ボタンを押す。

AUTOボタンを押すたびにチューニングモードがオートとマニュアルとに切り替わります。

オートチューニングモード時は受信できる放送局を自動的に探します。マニュアルチューニングモード時は1ステップずつ周波数を変えることができます。

オートチューニングモード中は、AUTOインジケータが点灯します。



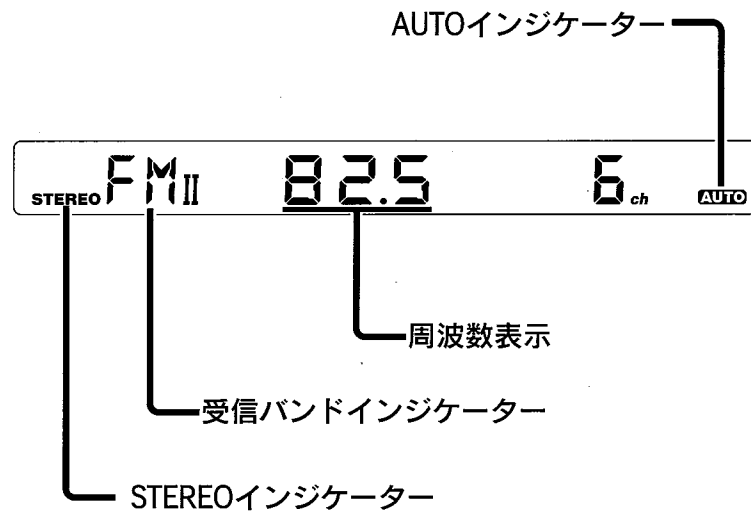
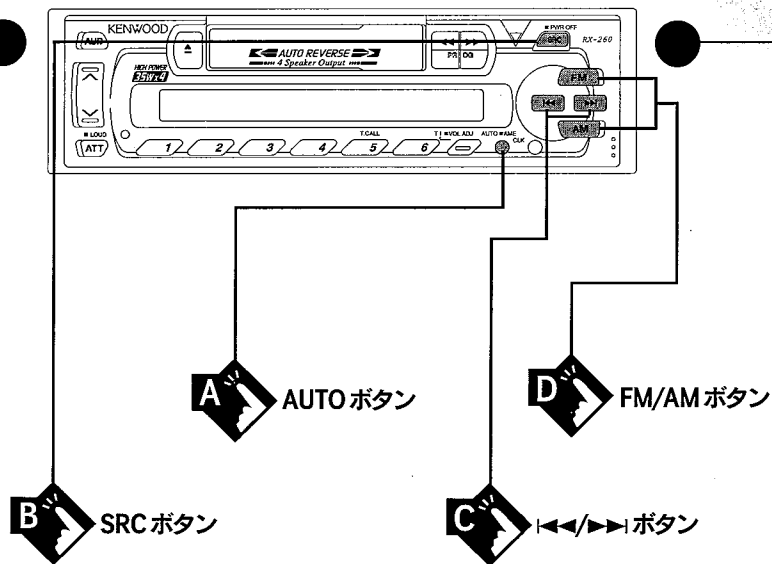
▷ 放送局を替える

◀◀ ボタンまたは**▶▶ ボタン**を押す。

オートチューニングモード時に◀◀ボタンを押すと低い周波数の放送局を探し、▶▶ボタンを押すと高い周波数の放送局を探します。

マニュアルチューニングモード時に◀◀ボタンを押すと周波数が1ステップ下がり、▶▶ボタンを押すと周波数が1ステップ上がります。

FMステレオ放送を受信するとSTEREOインジケータが点灯します。



TUNER MODE

マニュアルメモリー

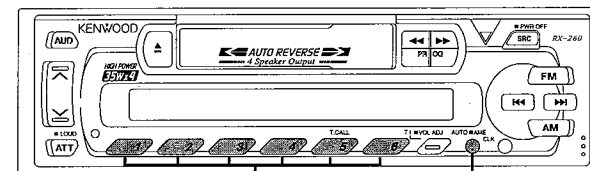
放送局をメモリーする

- A** ▷ 周波数をメモリーする
メモリーボタン1~6のいずれかを2秒以上押す。
受信中の放送局がメモリーされます。メモリーが完了すると押しているメモリーナンバー表示が点滅から点灯に変わります。
AM、FM1、およびFM2の各バンドで、1つのメモリーボタンに1つの周波数がメモリーできます。
- A** ▷ メモリーした放送局を呼び出す
メモリーボタン1~6のいずれかを押す。
押したボタンの番号がメモリーナンバー表示に表示されます。

オートメモリー

放送局を自動的に探してメモリーする

- B** ▷ オートメモリーを開始する
AMEボタンを2秒以上押す。
オートメモリーが始まり、次々に放送局を6局メモリーします。6局メモリーするか受信可能なすべての放送局をメモリーするとオートメモリーは終了します。
- A** ▷ メモリーされた放送局を呼び出す
メモリーボタン1~6のいずれかを押す。
押したボタンの番号がメモリーナンバー表示に表示されます。

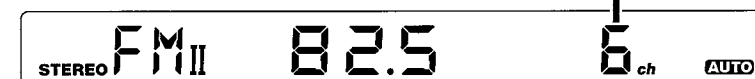


メモリーボタン



AMEボタン

メモリーナンバー表示



取り付け上のご注意

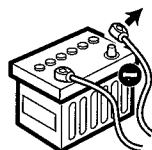
警告



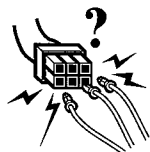
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



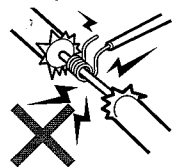
配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えすと、火災、その他の事故の原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るのは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



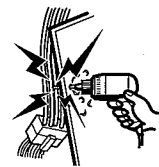
車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。



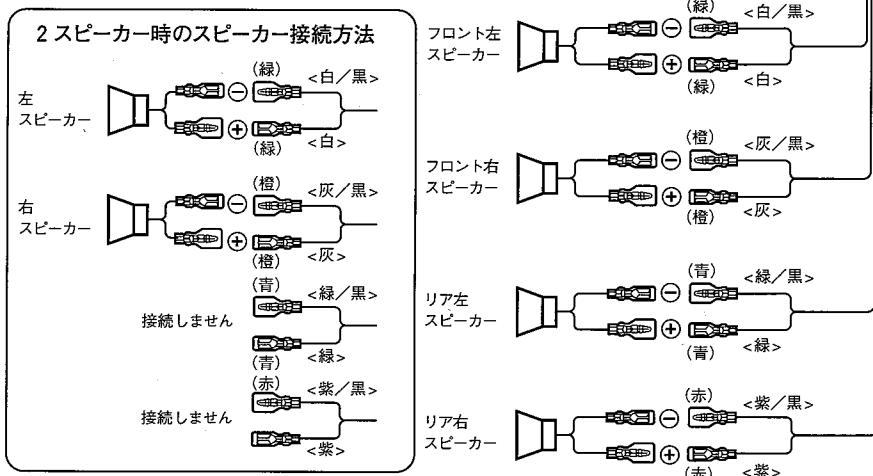
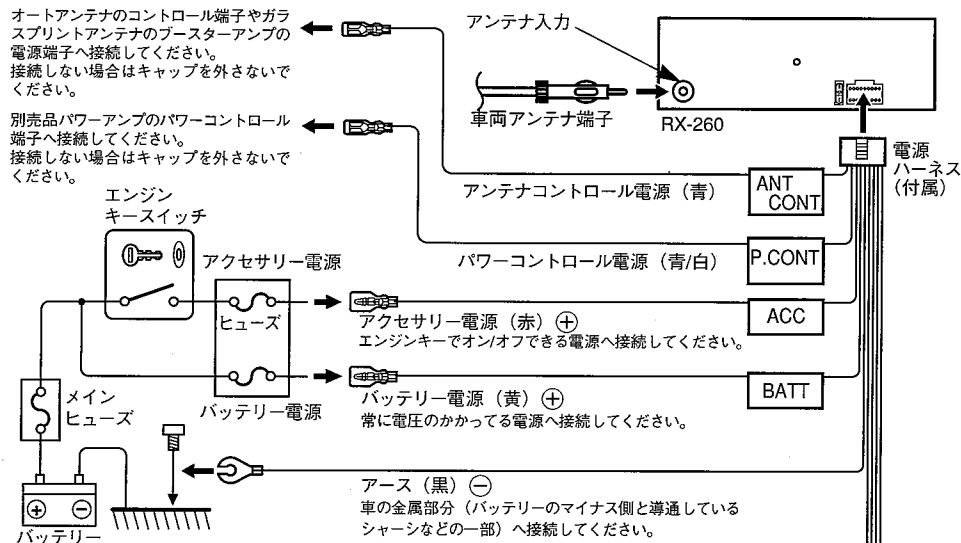
事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続・取り付けのしかた

●接続

取り付け手順

1. エンジンキーを抜き、バッテリーの⊖端子を外します。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスのアースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリ電源コード(赤)を順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターをRX-260に接続します。
6. 取付終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 電源をオンにしてリセットボタンを押します。(P.8)



●本機の取り付け

付属のネジ(M5×6mm)4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



注意

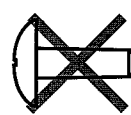
●取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

付属の取付ネジ

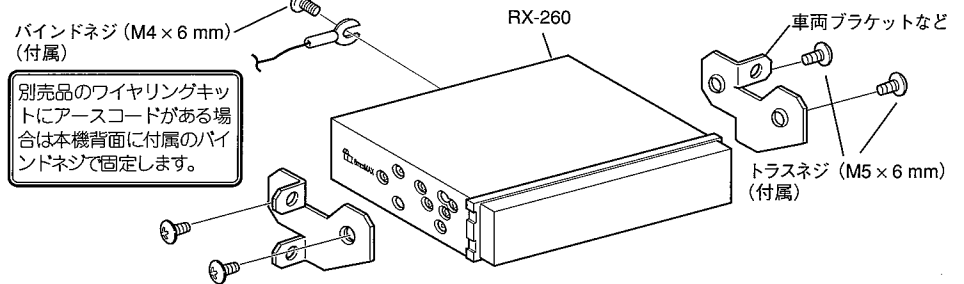


その他のネジ



付属ネジ一覧

	トラスネジ (M5×6mm) (赤) …………… 4
	バインドネジ (M4×6mm) …………… 1



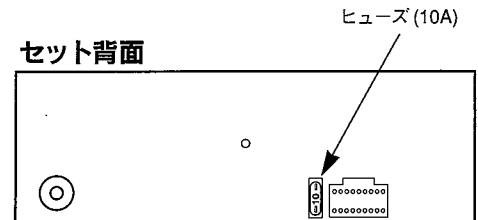
●ヒューズ交換のしかた



注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

セット背面



故障かな?と思ったら

ちょっとした操作ミスなどにより、故障と思われることがあります。
修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき	どうして	こうします
音が出ない/小さい	<ul style="list-style-type: none"> 音量が最小になっている。 アッテネーターがオンになっている。 ヒューズが切れている。 フェダー、バランスが片側に片寄った設定になっている。 入・出力/電源コードが間違っ て接続されている。 カセットテープの不良。 	<ul style="list-style-type: none"> 音量を適度に上げてください。 アッテネーターを解除してください。 コード類がショートしていないことを確 認後、所定容量のヒューズと交換してく ださい。 フェダー、バランスを調整してください。 "接続・取り付けのしかた"を見て正しく 接続してください。(⇒P.22) 他のカセットテープを使用してください。
音質が悪い(音が歪む)	<ul style="list-style-type: none"> 音量が大きすぎる。 ヘッドが汚れている。 スピーカーコードが車両側のネ ジにかみ込んでいる。 スピーカー配線が間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 適正音量で使用してください。 "ヘッドクリーニングについて"を見てヘッ ドクリーニングを行ってください。 (⇒P.9) スピーカー配線をチェックしてください。 スピーカー出力端子をそれぞれのスピー カー端子に接続してください。
テープが入らない	<ul style="list-style-type: none"> カセットハーフが変形している。 テープが逆向きになっている。 カセット機構がすでに再生状態 になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のカセットテープを使用してください。 テープが見える面を右に入れてくれ ださい。 ▲ボタンを押してから、カセットテー プを入れてください。
チューナーの感度が悪い	<ul style="list-style-type: none"> 自動車のアンテナが伸びていな い。 アンテナコントロール電源が接 続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナを十分伸ばしてください。 "接続・取り付けのしかた"をみてアン テナコントロール電源を接続してくだ さい。(⇒P.22)
テープモード中にアンテナが 伸びる	チューナーコイルがオンになっ ている。	チューナーコイルをオフしてくだ さい。 (⇒P.14)

保証とアフターサービス

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から
受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品
の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所
にお問い合わせください。(別紙“ケンウッドサービス網一覧表”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げ
の販売店またはケンウッドサービ
スセンター、営業所が修理させてい
たきます。ご依頼の際は保証書をご
提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の
混入など)による故障の場合は、保証対
象外になります。詳しくは保証書をご
覧ください。

●保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウ
ッドサービスセンター、営業所にご相
談ください。修理によって機能が維
持できる場合はお客様のご要望によ
り有料にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製
造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機
能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ(有料修理の場合は、以下の料金が必要です。)

- 技術料: 故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代: 修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサー
ビスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

メモ

FMチューナー部

受信周波数範囲	76.0 MHz～90.0 MHz
チャンネルスペース	100 kHz
実用感度 (SN比: 50 dB)	9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N比: 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (± 1 dB)	30 Hz～15 kHz
S/N比 (モノラル)	70 dB
選択度	≥ 80 dB (± 400 kHz)
ステレオセパレーション (1 kHz)	35 dB

AMチューナー部

受信周波数範囲	522 kHz～1629 kHz
チャンネルスペース	9 kHz
感度 (SN比: 20 dB)	28 dB μ (25 μ V)

カセットデッキ部

テープスピード	4.76 cm/秒
ワウ&フラッター (WRMS)	0.12 %
周波数特性 (± 3.0 dB、メタルテープ使用時)	30 Hz～14 kHz
ステレオセパレーション (1 kHz)	40 dB
S/N比 (IHF T200)	52 dB

オーディオ部

最大出力	35 W \times 4
定格出力 (1 kHz、10%THD、4 Ω)	21 W \times 4
音質調整	バス (100 Hz) ± 10 dB
トレブル (10 kHz)	± 10 dB

電源部

電源電圧 (⊖アース)	14.4 V (11～16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D)	178 \times 50 \times 155 mm
重量	1.2 kg

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になることがあります。